

委員会視察成果報告書

令和6年10月11日

犬山市議会
議長

柴田 浩行様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年 10月 1日(火) ~ 令和6年 10月 2日(水) (1泊 2日)
(2) 視 察 地	広島県 呉市 「空き家対策事業について」
(3) 視察の種類	常 任 委 員 会 (建 設 経 済 委 員 会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	呉市は、広島県の南西部に位置し、2003年から2005年の間に 周辺の8町が編入し、人口は19万8000人となっている。 呉市の空き家率は、令和5年度の調査で24.7%と、広島県15.1%、 全国13.6%よりかなり高い数字となっている。又、市内の地域によ っても市役所周辺の中央地区では、市内で5106戸の空き家の内、 1069戸の空き家がある。戦前にかけて多くの旧帝国海軍関係者など が移り住み、急激に増加する人口を受けて山の斜面を宅地として開 発。その結果無接道敷地が発生し、空き家になっても解体等が困難 な家が多く、空き家のまま残るケースが多いともあった。 このような状況の中、1、空き家化の予防（発生抑制）2、空き家等 の利活用促進3、管理不全な状態の解消4、跡地の利活用の4つの 施策を進めている。その他事業では、令和5年度から開始された、 呉市移住お試し住宅があり、1週間又は2週間島暮らしを有料でお 試し体験でき、空き家の利活用促進に繋がっていた。
(5) 犬山市に 対する提言	呉市での空き家対策事業の相談体制で、相談会の参加者の年齢が 60代以上の方が86.5%を占めている状況だとあった。犬山市でも 同じ状況だと聞いているので、空き家の発生抑制として、高齢者に 向けた相談会などを高齢者支援課などと連携し行っていくべきであ る。又、移住を考えている人にとって、お試し体験は大変に有効であ るので、検討を進めて行くべきである。



委員会視察成果報告書

令和6年10月11日

犬山市議会
議長

柴田 浩行様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和6年 10月 1日(火) ~ 令和6年 10月 2日(水) (1泊 2日)
(2) 視 察 地	福岡県 太宰府市 「歴史と文化の環境税について」
(3) 視察の種類	常 任 委 員 会 (建 設 経 済 委 員 会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	太宰府市固有の歴史的文化遺産及び観光資源等の保全と整備を図り環境にやさしい「歴史とみどり豊かな文化のまち」を創出するため、市内にある有料駐車場の利用者に一定の負担を求める法定外普通税として平成15年5月23日に施行されたのが、歴史と文化の環境税である。納税義務者として、月極駐車場、事業所・店舗等に付随する駐車場、臨時的駐車場（駐車台数5台以下、年間営業日数10日以下のいずれかに該当する駐車場に限る）以外の駐車場の利用者となっている。運営協議会として、太宰府市歴史と文化の環境税運営協議会の審議を経て使途を決定している。これまでの事業として、臨時駐車場の設置、仮設トイレの設置や、観光マップ製作、交通誘導警備などの事業を実施している。これからの事業としては、既存の事業の見直しや新規事業の計画などを積極的に調査研究することとしている。財源確保については、歴史的文化遺産の保存や、交通問題等に対応し事業継続を実施する為、財源の確保が必要としている。
(5) 犬山市に 対する提言	歴史と文化の環境税収入は、使途を審議するための機関として運営協議会を設けており、その中で実施する事業を決定している。 交通誘導警備や幹線道路周辺美化推進事業、施設整備等補助金など様々な事業で活用されていた。犬山市では、城下町での交通誘導警備委託料に年間約3千万円の支出がある。今後も継続されていくので、財源の確保の方法のあり方を検討していくべきである。